

平成18年1月末現在で前年度比三〇・四％増加した。今後も厳格な制度運用に努めたい。

岡山中央南小学校跡地活用方針取りまとめへ

問 岡山中央南（旧深砥）小学校跡地活用懇談会が平成18年2月に提言をまとめたが、結論を出す時期は。

答 今回の取りまとめをもって懇談会は役割を終える。今後はその提言をもとに、深砥、内山下両地区住民や表町商店街、岡山商工会議所等各種団体と協議を精力的に重ね、本市総合政策審議会にも諮り、夏頃を目標に活用方針を取りまとめたい。

南古都地内土壌等汚染問題

問 南古都地内の小鳥が丘団地における土壌等の汚染に対し、今後の取り組みは。

答 引き続き地下水等の周辺環境調査を実施し、住民の健康面で新たな疑念が生じたときは適切に対応する。また、南古都II環境対策検討委員会が示した対策案の早期実施に向け、住民、企業、市の三者協議を続けたい。

無所属市民の会

岡山後楽館中学・高校 校舎整備計画

問 旧中央北小跡に整備する岡山後楽館中学・高校の校舎整備の今後の予定は。



答 平成18年度に概略設計、19年度に北館の改修工事等、20年度に南館・体育館の解体工事等を行い、21・22年度に新校舎を建築し、23年度には開校の予定だ。

高島駅・庭瀬駅 南改札口設置を

問 高島駅と庭瀬駅に南口を設置しては。

答 駅の利便性が格段に向上するため、JR西日本に対し積極的に働きかけてきた。同社も真摯に受け止め検討されており、現在のところ明確な回答を得ていないが、今後とも粘り強く働

国際交流の基本方針

問 平成18年度の国際交流について、基本的な考えは。

答 18年度においても主要な事業の一つと考えており、子供海外派遣事業や市民訪問団の派遣・受け入れ等市民交流を引き続き進めるほか、新たにヨーロッパやアジア地域との交流や、国際交流都市等との経済交流にも取り組むたい。

政隆会

建部町・瀬戸町との合併 丁寧な協議を

問 建部町・瀬戸町との合併期日が平成19年1月22日までと決まったが、合併協議に当たり

サービス低下や住民不安防止のため、事務事業の十分な調整を。答 18年1月に設置した各種専門部会やその下部組織である事務担当者分科会等で丁寧な議論を進めており、3月以後開催の法定協議会へ逐次報告・提案される予定だ。二町と着実な協議を進め、できるだけ早く責任ある判断材料を住民等に示したい。

アクションスポーツパーク 指定管理者指定の経緯

問 市政の大きな懸案事項であるアクションスポーツパークの指定管理者は市公園協会、運営はエックス社とし、存続させることに至った経緯は。

答 ささまざまな視点から、現状を徹底的に調査・分析した結果、①プロポーザルの経緯と、委託期間を十年と定めた本市・市公園協会・エックス社による覚書に基づき管理運営されていること②岡山ドームも合わせて委託されていること③起債による制約があること④本市へのスポーツ施設譲渡が五年間延長され、本市の負担等が当面回避できること一を踏まえ、慎重かつ総合的に判断したものだ。

救急救命士 高度な処置で救命率向上へ

問 救急救命士が行える処置に、より高度な気管挿管と薬剤投与が追加されたが①救命士の追加講習による養成状況は②救命効果は。

答 ①気管挿管の追加講習により平成17年度は四名の認定救命士が誕生した。薬剤投与についても早急に取り組み、今後五年間で約五十名を養成する予定だ②気管挿管・薬剤投与により

心肺停止の傷病者がそ生する可能性が高まるため、救命率の向上が図られる。

中心市街地の商業再生策

問 平成17年実施の店舗実態調査を踏まえ、衰退する中心市街地の商業再生に向けた取り組みを。

答 アンケート調査から、後継者難や空き店舗増加への危機感等が見られた。今後、きめ細かく各地域の問題点を踏まえ、商店主等に対するセミナーを開催し、後継者難への不安を解消するとともに、成功事例を共有することで、やる気を引き出していきたい。また、地権者へもこれまで以上に情報を提供し、関係団体とも協議の上、新たな空き店舗対策に取り組みたい。

